（R8.10.2 賛成討論　池田）

議案第５４号　令和７年度多賀城市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、
議案第５５号　令和７年度多賀城市下水道事業会計未処分利益剰余金の処分について、
議案第５６号　令和７年度多賀城市一般会計決算及び各特別会計決算の認定について、
議案第５７号　令和７年度多賀城市水道事業会計決算の認定について、
議案第５８号　令和７年度多賀城市下水道事業会計決算の認定について　の各議案に、賛成の立場から討論をいたします。

まず、一般会計決算及び各特別会計決算について、端的に、特に評価する点について申し上げます。

多賀城市総合計画前期計画の最終年度となった令和７年度は、４月に多賀城跡ガイダンス施設、１１月に宮城オルレ多賀城コース、３月に中央公園スケートパークがオープンするなど、結果として、新たな多賀城の魅力を市内外に発信するとともに、未来への財産となるような素晴らしい年となりました。

また、肥大化する行政需要に対し、職員採用の強化による安定的な行政サービスの提供が図られたほか、市公式 Line での AI チャットボットによる問い合わせ対応や開庁時間の短縮など、市民の利便性と職員の働き方改革のバランスを保った取り組みが行われました。

物価高騰対策として、市民に現金給付のほか、みやぎポイント給付により、いち早く届けていただいた取り組みは、市内店舗への経済波及効果とデジタル基盤の構築という副次的な効果もありました。

歳入についても、市税収納率が向上したほか、防災ビジョンにおける広告料など新たな財源確保に努力いただきました。

一方、入札不調による市庁舎耐震対策事業の遅れなど、予定通り進めることができなかった主要事業もありましたが、刻々と変化する情勢に対し、その時々の柔軟な判断の結果だと受け止めております。

次に、水道事業会計決算及び下水道事業会計決算については、改定前の「多賀城市水道事業経営戦略」及び「多賀城市下水道事業経営戦略」に基づき、当初の想定を上回る正味資本残高となったことをはじめ、着実かつ堅実な経営について評価するものです。

最後に、今回の決算審議で議論させていただいたことが、総合計画後期計画の初年度となる令和８年度の予算執行及び令和９年度当初予算に適切に反映いただけることをご期待申し上げ賛成の討論といたします。